

平成 30 年度 第 54 回
「小島三郎記念文化賞」推薦依頼

拝啓 春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、1965年（昭和40年）4月に創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」が設定されております。

本賞は、故小島三郎博士が広く関係をもたれていた病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績をあげた方に贈呈するものであります。

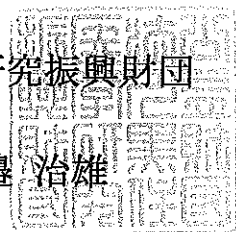
つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞受賞候補者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

平成 30 年 3 月 吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊 治雄



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp>
E-mail : info@kmf.or.jp

平成30年度 第54回
「小島三郎記念文化賞」審査規定

1. 本賞は、「小島三郎記念文化賞」と称する。
2. 本賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈るものである。
3. 審査の対象は、原則として最近の業績であり、かつ、評価の定まったものとする。
4. 本賞受賞候補者の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。
5. 本賞受賞候補者の推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。
6. 本賞の審査は、毎年1回行う。

附則

- (1) 推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)
- (2) 推薦用紙とともに、論文別刷などの資料を同封してください。
- (3) 締切りは平成30年5月31日(木)必着とします。
- (4) 送付先

(切り取ってご使用ください)

〒110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7

栄研化学(株)内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団宛

本賞の第 17 回から第 53 回までの受賞者は次の方々です。

(第 1 回からの詳細は財団ホームページを参照願います。)

年 度	氏 名	所 属 機 関
第 1 7 回 1981 年 (昭 56) 11 月	20.牧野 慧 博士	北里研究所ウイルス部長
第 1 8 回 1982 年 (昭 57) 11 月	21.中谷林太郎博士	東京医科歯科大学微生物学 教授
第 1 9 回 1983 年 (昭 58) 11 月	22.中江 太治 博士	東海大学医学部総合医学研究所 教授
第 2 0 回 1984 年 (昭 59) 11 月	23.本間 守男 博士 24.中嶋 宏 博士	神戸大学医学部微生物学 教授 WHO西大平洋地域 事務局長
第 2 1 回 1985 年 (昭 60) 11 月	25.竹田 美文 博士	東京大学医科学研究所 教授
第 2 2 回 1986 年 (昭 61) 11 月	26.西岡久壽彌博士	北里研究所肝臓病研究センター顧問
第 2 3 回 1987 年 (昭 62) 11 月	27.須藤 恒久 博士	秋田大学医学部微生物学 教授
第 2 4 回 1988 年 (昭 63) 10 月	28.山西 弘一 博士	大阪大学微生物病研究所 助教授
第 2 5 回 1989 年 (平元) 11 月	29.五十嵐 章 博士	長崎大学熱帯医学研究所 教授
第 2 6 回 1990 年 (平 2) 11 月	30.斎藤 和久 博士	国際医学情報センター 理事長
第 2 7 回 1991 年 (平 3) 11 月	31.倉田 毅 博士	国立予防衛生研究所 病理部長
第 2 8 回 1992 年 (平 4) 11 月	32.日野 茂男 博士	鳥取大学医学部ウイルス学 教授
第 2 9 回 1993 年 (平 5) 11 月	33.小澤 敦 博士	東海大学医学部 特任教授
第 3 0 回 1994 年 (平 6) 11 月	34.速水 正憲 博士	京都大学ウイルス研究所 教授
第 3 1 回 1995 年 (平 7) 11 月	35.佐藤 勇治 博士 36.木村三生夫博士	前・国立予防衛生研究所細菌部 室長 東海大学名誉教授
第 3 2 回 1996 年 (平 8) 11 月	37.宮村 達男 博士	国立予防衛生研究所ウイルス第 2 部長
第 3 3 回 1997 年 (平 9) 11 月	38.相川 正道 博士 39.本田 武司 博士	東海大学総合医学研究所 教授 大阪大学微生物病研究所 教授
第 3 4 回 1998 年 (平 10) 10 月	40.中村 信一 博士	金沢大学医学部医学科 (微生物学) 教授
第 3 5 回 1999 年 (平 11) 10 月	41.光山 正雄 博士	京都大学大学院医学研究科 教授
第 3 6 回 2000 年 (平 12) 10 月	42.内山 竹彦 博士	東京女子医科大学微生物学免疫学 教授
第 3 7 回 2001 年 (平 13) 10 月	43.尾身 茂 博士	WHO 西太平洋地域 事務局長
第 3 8 回 2002 年 (平 14) 10 月	44.品川 森一 博士	帯広畜産大学公衆衛生学 教授
第 3 9 回 2003 年 (平 15) 10 月	45.橋爪 壮 博士	(財)日本ポリオ研究所 理事長
第 4 0 回 2004 年 (平 16) 10 月	46.山口 恵三 博士	東邦大学医学部微生物学講座 教授
第 4 1 回 2005 年 (平 17) 10 月	47.渡邊 治雄 博士	国立感染症研究所 副所長

年 度	氏 名 ・ 所 属 機 関 ・ 業 績 題 目
第 4 2 回 2006 年 (平 18) 10 月	48.西山 幸廣 博士 名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学講座ウイルス学分野 教授 (業績の題目) ヘルペスウイルスに関する基盤研究とその応用
第 4 3 回 2007 年 (平 19) 10 月	49.馬原 文彦 博士 馬原医院 院長 (業績の題目) 日本紅斑熱の発見と臨床的疫学的研究
第 4 4 回 2008 年 (平 20) 10 月	50.岡本 宏明 博士 自治医科大学感染・免疫学講座 ウイルス学部門 教授 (業績の題目) 肝炎ウイルスの分子医学的研究とその応用
第 4 5 回 2009 年 (平 21) 10 月	51.伊藤 亮 博士 旭川医科大学医学部寄生虫学講座 教授 (業績の題目) エキノコックス症に関する免疫診断法の開発と流行地での応用
第 4 6 回 2010 年 (平 22) 10 月	52.藤田 尚志 博士 京都大学 ウイルス研究所 教授 (業績の題目) 細胞質ウイルスセンサーRIG-I ファミリーの発見
第 4 7 回 2011 年 (平 23) 10 月	53.吉開 泰信 博士 九州大学生体防御医学研究所附属感染ネットワーク研究センターセンター長 教授 (業績の題目) γ δ 型 T 細胞の発見と感染防御機構での役割の解明
第 4 8 回 2012 年 (平 24) 10 月	54.荒川 宜親 博士 名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学/耐性菌制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌が獲得した新規薬剤耐性機構 (16S リボソーム RNA メチラーゼ) に関する体系的研究
第 4 9 回 2013 年 (平 25) 10 月	55.江崎 孝行 博士 岐阜大学大学院医学系研究科 再生分子統御学講座 病原体制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌の分類手法の開発とそれを利用した微生物の社会基盤の確立
第 5 0 回 2014 年 (平 26) 10 月	56.中谷比呂樹博士 世界保健機関 (WHO) 本部 事務局長補 医学博士 (業績の題目) 不健康と貧困の悪循環を断つための地球規模での公衆衛生学的アプローチ
第 5 1 回 2015 年 (平 27) 10 月	57.瀬谷 司 博士 北海道大学大学院医学研究科免疫学分野 教授 (業績の題目) 自然免疫の自己・非自己識別機構に関する研究
第 5 2 回 2016 年 (平 28) 10 月	58.山崎 晶 博士 九州大学生体防御医学研究所感染ネットワーク研究センター免疫制御学分野 教授 (業績の題目) 結核菌受容体群の発見と宿主免疫賦活化機構の解明
第 5 3 回 2017 年 (平 29) 10 月	58.森 康子 博士 神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野 教授 (業績の題目) ヒトヘルペスウイルス 6B 受容体の発見とウイルス侵入機構の解明